

2 学年 第 2 回進路志望調査結果 (11 月実施)

区 分	今回(令和2年11月)		前回(令和2年6月)	
	人 数	(%)	人 数	(%)
国立大	32 人	16.4%	41 人	20.9%
公立大	46 人	23.6%	37 人	18.9%
私立大	60 人	30.8%	55 人	28.1%
私立短大	7 人	3.6%	7 人	3.6%
専修学校等	11 人	5.6%	26 人	13.3%
就 職	39 人	20.0%	30 人	15.3%
未 定	0 人	0.0%	0 人	0.0%
合 計	195 人		196 人	

前回調査と比較すると、志望状況に大きな変化は見られません。進学では、普通科全体の約半数の生徒が国公立大学を志望しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響からか、青森県内の国公立大学を志望する生徒が大半を占めています。その内訳は、弘前大学20名、青森県立保健大学17名、青森公立大学15名で、各大学の志望者数にも大きな変化が見られないことから、志望を固める生徒が少しずつ増えてきていると思われます。また、専門学校の希望者が15人も減っています。

就職では、就職希望者39名のうち公務員希望者が32名となっており、前回調査と比較すると9名も増加しています。2008年のリーマン・ショックでは、次の年から就職に大きな影響が出たことから、新型コロナウイルスの感染拡大も、現高校2年生の就職に大きく影響すると予想されています。民間就職・公務員の希望者は、厳しい戦いを覚悟して、早期に準備を進めるようにしましょう。

1 学年 第 2 回進路志望調査結果 (11 月実施)

区 分	今回(令和2年11月)		前回(令和2年7月)	
	人 数	(%)	人 数	(%)
国立大	41 人	20.4%	60 人	30.0%
公立大	46 人	22.9%	41 人	20.5%
私立大	38 人	18.9%	34 人	17.0%
国公立短大	0 人	0.0%	1 人	0.5%
私立短大	9 人	4.5%	3 人	1.5%
専修学校等	20 人	10.0%	19 人	9.5%
就 職	44 人	21.9%	39 人	19.5%
未 定	3 人	1.5%	3 人	1.5%
合 計	201 人		200 人	

前回調査と比較すると、国公立大志望者が14名減り、私立大・私立短大や就職の人数が増えました。

進学では2年生と同様に、普通科全体の約半数の生徒が国公立大学を志望しています。その内訳は、弘前大学25名、青森県立保健大学22名、青森公立大学15名で、1年生も県内志向が強いことがわかります。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各大学のオープンキャンパスがオンラインで行われています。宿泊費や交通費がかからないことから、いい機会と捉えて進学情報の収集に努めてください。

就職では、就職希望者44名のうち公務員希望者が36名となっており、前回調査と比較すると9名も増加しています。現高校2年生と同様に、新型コロナウイルスは現高校1年生の就職にも少なからず影響すると予想されます。

1年生は進路についてじっくり考える時間があります。保護者や担任の先生と相談をして、進路達成に向けて主体的かつ積極的に行動するようにしましょう。

奨学金について ~返還額を知る~

先日、あるクラスで「高校卒業後に奨学金を考えている人はいますか」と質問してみると、かなりの生徒が考えていることがわかりました。奨学金は「借りるお金」ですから、働いて返済しなければなりません。(給与型奨学金もあります)

以下に日本学生支援機構(JASSO)の貸与型奨学金の返済シミュレーションを示します。

第一種奨学金(国公立大の自宅外生)月額51,000円&定額返還方式の場合

貸与総額 2,448,000円(=51,000円×4年×12ヶ月)

返済月額 13,600円(=2,448,000円÷(15年×12ヶ月)) ※返還年数は貸与額によって異なります

この例では37歳まで毎月13,600円を返還することになり、大きな負担となります。進学費用の工面は、受験直前ではどうにもなりません。奨学金を考えている1・2年生は、JASSOホームページの返済シミュレーション等を利用するなどして、保護者と相談しながら慎重に検討するようにしましょう。

2 学年進路ガイダンス（全体会）

11月19日（木）に、2年生全員を対象に進路ガイダンスを行いました。年度当初の行事予定では、ガイダンス当日はちょうど修学旅行に行っている日でした。しかし、ガイダンスの冒頭で進路指導部の宮本主任は、この修学旅行の中止を前向きに捉え早期に進路について対策を講じていく「準備」の重要性について、強調して講話されました。ガイダンスの内容を以下にまとめましたので、学校生活全体で常に意識をして、自分自身の行動を変化させましょう。今のままでいい高校生なんて、一人もいませんから。

- ★ 社会の変化に目を向けて職業選択をする
 - ・ AI（人工知能）やロボットの進化で職業は減ると予想されている
 - ・ 新型コロナウイルスも今後の職業に大きく影響する
- ★ 一番大切なのは「授業時間」である
 - ・ 学習時間（授業時間・家庭学習時間）のインテンシティ（強度）を高める
 - ・ 考査や模擬試験の見直しで、できないことをできるようにする
- ★ 規則正しい生活習慣・服装容儀を心がける
 - ・ 家庭学習時間を固定化する（自分で決めた時間になったら何があっても勉強する）
 - ・ スマートフォンの使用時間を制限する
 - ・ 自己管理を徹底する … 「物の管理（整理力）」・「時間の管理（逆算力）」・「心の管理（自律力）」
 - ・ 面接は第一印象が大切 … 「志望理由書（採点官と受験生との最初の出会い）」と「見た目（好印象を与える雰囲気）」
- ★ 最も重要な時期は「今」
 - ・ 部活動引退後の3年生はみんな頑張る → 差がつくのは今である
 - ・ 2年生3学期は「3年生0学期」である → 今から「受験生としての自覚」を持つこと
- ★ 今一番身に付けるべき力は「やりきる力」
 - ・ 小テストや考査を頑張れないようでは何をやっても通用しない
 - ・ 小さいことを一つ一つ丁寧に積み重ねていけば、必ず学業と部活動の両面で成長につながる



進路コラム

数学で、正しい（真）か正しくない（偽）かが定まる文や式を「命題」といいます。

「人の話しを素直に聞いた方が成長する」という命題が真であることを証明したいと思います。

保護者や担任の先生は毎日、あなたに様々な「メッセージ」を発信しています。あなたはその「メッセージ」を区別して、その意味を査定し、メッセージを限定して受信しませんか？「これって意味ないよね」という言葉をよく耳にしますが、「意味ないよね」と口にする人の行動を観察すると、その行動すべてに意味があるように見えた人はこれまで1人もいません。本当に。

「意味」を口にする人間というのは、自分に意味を査定するだけの能力が備わっていると思っています。そうでなければ「意味の有無」を口にするはずがありません。しかし、この世の中に「意味」を査定できる人がどのくらいいると思いますか？ほとんどいないと思いますが、確実に言えることが1つだけあります。それは「高校生にはまだ物事の意味を査定する能力はない」ということです。なぜなら、たった18年しか生きていませんから。馬鹿にしているわけではありません。私たち大人にだって「意味を査定する能力」なんてありませんよ。だから、「メッセージの区別」や「意味の査定」を行っている人がいるとすれば、その忝意性（ダタラメさ・テキトウさ）をキャンセルできません。

決して意味の有無を口にしてはいけません。成長の妨げになるから。

真剣に考えてほしいことがあります。それは、発信した保護者や担任は、なぜあなたに「メッセージ」を発信したのか？ということです。それは発信者からあなたに対する何らかの「意思」があったからに他なりません。

あなたが成人したとして、見ず知らずの学生に「ちょっと、その〇〇生。勉強は絶対にした方がいいよ。」というメッセージを発信しますか？それは絶対にないと思います。だって、通りすがりの高校生がどうなろうと、あなたには無関係だから。

つまり、発信者は受信者に特別な感情を抱いているということになります。だから、あなたはメッセージを受信したら、発信者に「敬意」を払い、メッセージを区別したり、メッセージの意味の有無を考えたりするのではなく、メッセージに込められた発信者からの「意思」を考え、それを真摯かつ謙虚に汲み取る姿勢が大切なのです。あなた宛のメッセージは全てあなたの成長に資するものですから。

結論を述べます。成長できない人には共通して「忝意的な区別」や「意味の査定」をする傾向があります。

なぜなら「忝意的な区別」や「意味の査定」によって、あなたの成長に必要なメッセージを、日々削除しているからです。

（証明終わり）

真摯かつ謙虚に他者の話しに耳を傾けてください。あなたはまだ高校生ですから、苦しいことがあったら誤魔化して、都合の悪いことは隠して、現実から逃げたくなる時もあると思います。しかし、誤魔化しても、隠しても、逃げて、成長できません。

高校は自身を成長させる場です。だから「誤魔化さないこと。隠さないこと。逃げないこと。」進路指導部からのメッセージです。